

3.人権(同和)教育

(1) 目標

生活の場で真実を追究し、人権認識や民主的な人間関係を育てる。

(2) 学年目標と重点内容

学年	目標	重点内容
1	はっきりした自分の考えをもち、誰とでも仲よくつき合える子ども	① 自分でできることは自分です。 ② 誰とでも仲よく遊ぶ。 ③ 人の前でなんでも話せる。
2	誰とでも力を合わせ、みんなの問題を自分の問題として解決する子ども	① 最後までやりとおす。 ② 友だちのよいところを見つけ、みんなと仲よくする。 ③ いやなこと、できないことをはっきり言える。
3	人の立場に立って、自分も友だちも大切にしたい学級集団を自分たちの力でつくる子ども	① ねばり強く最後までやりとおす。 ② 友だちの良さを認め、仲よく協力する。 ③ 友だちの意見を聞き、自分の考えをはっきりと言う。
4	互いに認め合い高め合う学級集団をつくることのできる子ども	① みんなで助け合って仕事をやりとげる。 ② 友だちの良さを認め、理解し合う。 ③ 友だちの意見をよく聞き、しっかりした自分の意見を持つ。
5	相手の立場に立って考えながら話し合い、学校生活の中でおこる問題を学校全体のものとして解決しようとする子ども	① 互いに支え合い、問題を解決する。 ② 相手の立場に立って考え、悩みを出し合える学級集団をつくる。 ③ 人の意見をよく聞き、自分の考えをはっきり言う。
6	学校生活の中でおこる問題をとらえ、話し合いによって解決していくとともに正しい科学的認識をもった子ども	① 不合理や矛盾に対しては、納得のいくまで話し合う。 ② 相手の立場や心情を受け止めながら、友情をはぐくむ学級・学校集団をつくる。 ③ 社会科学習の中で、身分差別の不合理を知り、社会矛盾や問題に目を向ける。

人権（同和）教育全体計画

関係法令等

- ・日本国憲法
- ・人権関係諸条約・法律
- ・教育基本法
- ・学習指導要領
- ・県人権教育基本方針
- ・県同和教育基本方針等

学校教育目標

豊かな心を持ち、主体的に生きる子どもを育成する

- ・やる気のある子ども
- ・やさしい子ども
- ・たくましい子ども

- 児童の実態
 - ・全体的には明るく活発で素直な子どもが多い。
 - ・学習に取り組む態度は落ち着いているが、鋭く物事をとらえ、探求する能力にやや欠ける。
 - ・決められた事にはまじめに取り組むが他律的な面も見られる。
- 保護者の願い
 - ・いじめのない友達関係の中で、仲よく学校生活を送ってほしい。
 - ・確かな学力を身につけてほしい。
 - ・登下校中も含め、健康で安全な学校生活を望んでいる
- 地域の実態や願い
 - ・古くから在住している人も多く、学校教育には協力的で、子どもたちの安全を願って見守り隊を作り、下校時の安全を見守って下さっている。

各教科の重点

国語

- ・人の生き方について考える豊かな心情を育てる。
- ・言葉によるコミュニケーションの力をつける。

社会

- ・人々がより良い生活を作り出そうと努力してきたことを知り、科学的な考え方を育て、人権を尊重する態度を育てる。

算数

- ・目的に応じて合理的に処理する能力や論理的に考える力を育てる。

理科

- ・自然現象を科学的にとらえる
- ・生き物との関わりを通して生命の大切さを知る。

生活

- ・具体的な活動や体験を通して、自分・社会・自然との関わりをもち、生活上必要な習慣や技能を身につけ、自立への基礎を養う。

音楽

- ・一人一人の出す音が響き合い、美しいハーモニーが奏でる楽しさを味わわせる。

図工

- ・造形的な創造活動を通して表現の喜びを味わわせ、豊かな心を育てる。

家庭

- ・家庭生活について関心をもち、知識技能を身につけ、実践しようとする態度を育てる。

体育

- ・ルールを守り、力を合わせて運動する楽しさを味わわせる。

- 人権（同和）教育の目標

生活の場で真実を追求し、人権認識や民主的な人間関係を育てる。
- 学年別重点目標

1年 はっきりとした自分の考えを持ち、誰とでも仲よくつきあえる子ども

2年 誰とでも力を合わせ、みんなの問題を自分の問題として解決する子ども

3年 人の立場に立って、自分も友だちも大切にした学級集団を自分たちの力でつくる子ども

4年 互いに認め合い高め合う学級集団をつくることのできる子ども

5年 相手の立場に立って考えながら話し合い、学校生活の中で起こる問題を学校全体のものとして解決しようとする子ども

6年 学校生活の中で起こる問題をとらえ、話し合いによって解決していくとともに正しい科学認識を持った子ども
- 校内研修課題

よりよい生き方を目指して主体的に学び活動する子どもの育成

重点的に取り組む人権（同和）学習の到達目標

自己尊重の感情	多様性多文化共生	人権の意義・内容	男女共生	障害者の人権	同和問題
まわりの人から愛され、大切にされてきた自分に気づくとともに、自分を価値ある存在と思う気持ちを持つ。	一人一人の価値観や行動様式を尊重するとともに、異文化の理解に努めようとする。	自分らしく生きるために人権という決まりが作られていることを知るとともに、人々の取り組みによって発展するものであることを理解する。	男女の性差を正しく知るとともに、共に協力し合って仲よく生活しようとする。	障害のある人の立場に立って考え、助け合って生活し活動する。	同和問題を正しく理解し、みんなで力を合わせて、問題を解決しようとする。

道徳

自他の人格を尊重し、人間性豊かな心情を持ち、正しい道徳的判断力を身につけた実践力のある子どもの育成。

特別活動

望ましい集団生活を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸張を図るとともに、集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。

総合的な学習

・自らの課題を見つけ、自ら学び、自ら考え主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。

・学び方やものの考え方に身に付け、問題の解決や探求活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、己の生き方を考えることができるようになる。

「心があたたかくなることばのべんきょう」のべんきょう

人と人とのつながりを深める上で、言葉が大切な働きをしていることを知り、相手を思いやる温かい心情を育てる。

家庭・地域・学校間との連携

- 授業参観（10月人権教育参観）、懇談会等を通して人権教育への理解と協力を得る
- さくら会の方々との交流の機会を持つ
- 城東ブロック研修会を通じ、他校と交流して人権教育の推進につとめる。幼稚園、保育所、養護学校間での指導等に関する情報交換を積極的に行う

教職員の研修

- 校内研修の充実

「心があたたかくなることばのべんきょう」や人権教育のまとめ等の実践を交流する。「子どもを見つめて」（生活指導）で子どもの実態を交流し、よりよい方向を目指す
- 機会をとらえ、積極的に研修会へ参加する

(4) 本年度の努力点

- ① 子どもの悩みや問題に気づき、その背景をさぐり、指導のあり方を究明し、共通理解のもとに指導を進める。
- ② 人権に対する子どもの望ましい意識をどう育てるか実践研究する。
- ③ 講演会、学習会、研究会に積極的に参加し、研修を深める。
- ④ 保護者への啓発活動を積極的に行う。(懇談会、講演会、映画)

(5) 具体的な実践

- ① 生活科・社会科学習・総合的な学習を通じて、自ら考え主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。
- ② 国語科、学級活動、道徳教育の取り組みの中でも、人権(同和)教育に関する単元や題材の指導を焦点づけ、感性を養い、人間としての生き方を考えさせる。
- ③ 男女が互いに人権を尊重し、共生していけるような取り組みをする。
- ④ 「心があたたかくなることばのべんきょう」を学期ごとに行い、交流をはかっている。
- ⑤ 学級と子ども個々の実態をよく把握し、学級活動の充実を図る。
- ⑥ 職員の研修の機会を多くし、人権(同和)問題についての認識を深める。
- ⑦ 学級・学年懇談会などで、低・中・高学年一貫した保護者への啓発活動を行う。
- ⑧ 近隣校との交流を図る。
- ⑨ PTA、地域の関係諸団体(城東同推協等)との連携を密にする。また、さくら会の方々ととの交流の機会を持つ。

(6) 重点教材

① 生活科・社会科

学年	ね ら い	重 点 教 材
1	おうちの人やまわりの人々は、自分の生活と深くかかわっていることに気づく。	<ul style="list-style-type: none"> ○ みんななかよし ○ だいすきだよ ○ おもいでがいっぱいできたよ
2	仕事にたずさわる人々はわたしたちの生活を支える大切な役割をしていることに気づく。	<ul style="list-style-type: none"> ○ この町大すき ○ 子ども郵便局を開こう ○ みんな大きくなったよ
3	人々のくらしを高めるくふうや願い、地域社会の中にある矛盾に気づく。	<ul style="list-style-type: none"> ○ わたしたちの市のようす ○ 人々のしごと ○ わたしたちのくらし
4	人々はよりよい生活、より豊かな地域の発展を願って努力していることを知り、さまざまな矛盾を克服しようとしていることに気づく。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住みよいくらしをささえる ○ きょうどにつたわるねがい ○ わたしたちの県
5	よりよい生活をつくり出そうとする人々の工夫とともに、発展のひずみの中で苦しむ人々の願いにふれ、人権の尊さをとらえ、差別をなくそうとする態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ わたしたちの生活と食料生産 ○ わたしたちの生活と工業生産 ○ わたしたちの生活と情報
6	人々の生き方や願いを通して基本的人権の大切さをとらえ、差別をなくそうとする態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大仏づくりと農民のくらし ○ 検地と刀狩り ○ 身分制度と人々のくらし ○ 四民平等 ○ 民衆運動と発展と普通選挙 ○ わたしたちの生活と政治